

# 2009年3月期 連結業績概要 及び 2010年3月期の連結業績見通し

2009年5月8日  
TDK株式会社  
代表取締役 社長  
上釜 健宏

## 将来に関する記述についての注意事項

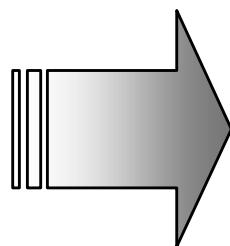
この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといたします。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

# 2009年3月期 連結業績概要

期 科目	前 期 (2007.4.1 ~ 2008.3.31)		当 期 (2008.4.1 ~ 2009.3.31)		増 減	
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
売 上 高	866,285	100.0	727,400	100.0	138,885	16.0
営 業 利 益 ( 損 失 )	87,175	10.1	54,305	7.5	141,480	-
税引前当期純利益( 損失)	91,505	10.6	81,630	11.2	173,135	-
当 期 純 利 益 ( 損 失 )	71,461	8.2	63,160	8.7	134,621	-
1株当たり当期純利益( 損失)金額:						
- 基本	551円 72銭		489円 71銭			
- 希薄化後	551円 19銭		489円 71銭			

売上換算レート	前 期	当 期	変 化
US\$ = Yen	114.4	100.7	12.0%円高
Euro = Yen	161.6	144.1	10.8%円高



売上高  
営業利益

798億円の減収  
189億円の減益

# 2010年3月期 連結業績見通し

(単位:億円)	2009年3月期		増減額	2009年5月8日
	通期 実績	2010年3月期 通期 見通し		増減率 (%)
売上高	7,274	7,178	96	-1.3%
営業利益	543	135	678	-
税引前当期純利益	816	69	885	-
当期純利益	632	52	684	-
為替レート (U.S.\$=Yen)	101	90 *		

\* 2010年3月期の対米ドルと対ユーロ円平均レートは、各々90円、120円を想定しております。

# 2010年3月期 経営重点課題

1. エプコス社統合について
2. 収益構造改革について
3. コンデンサ事業について
4. HDD用ヘッド事業について

# エプコス社統合の今までのステップ

2006年12月13日	秘密保持契約締結	統合可能性検討開始
↓ 約20ヶ月をかけて統合の是非を検討 ↓		
2008年7月31日	事業統合契約締結	1) TDK受動部品事業分社 2) 公開買付け支持 その他の条件合意
2008年8月25日 ↓ 2008年10月7日	友好的公開買付け	55,743,537株 (所有割合83.91%)
2008年10月14日 ↓ 2008年10月27日	(追加) 友好的公開買付け	62,675,734株 (所有割合94.35%)

2009年4月末時点での所有割合は96%弱

## 今後の重要な2つの手続き

### 1 . Domination Agreement(支配契約)

エプコス社に対し、TDKが絶対支配権を持つことで合意

### 2 . Squeeze-Out

100%子会社化

100%子会社化の達成により、事業統合促進と経営スピードアップを見込む

**事業統合プロセス加速**

## 最終手続き

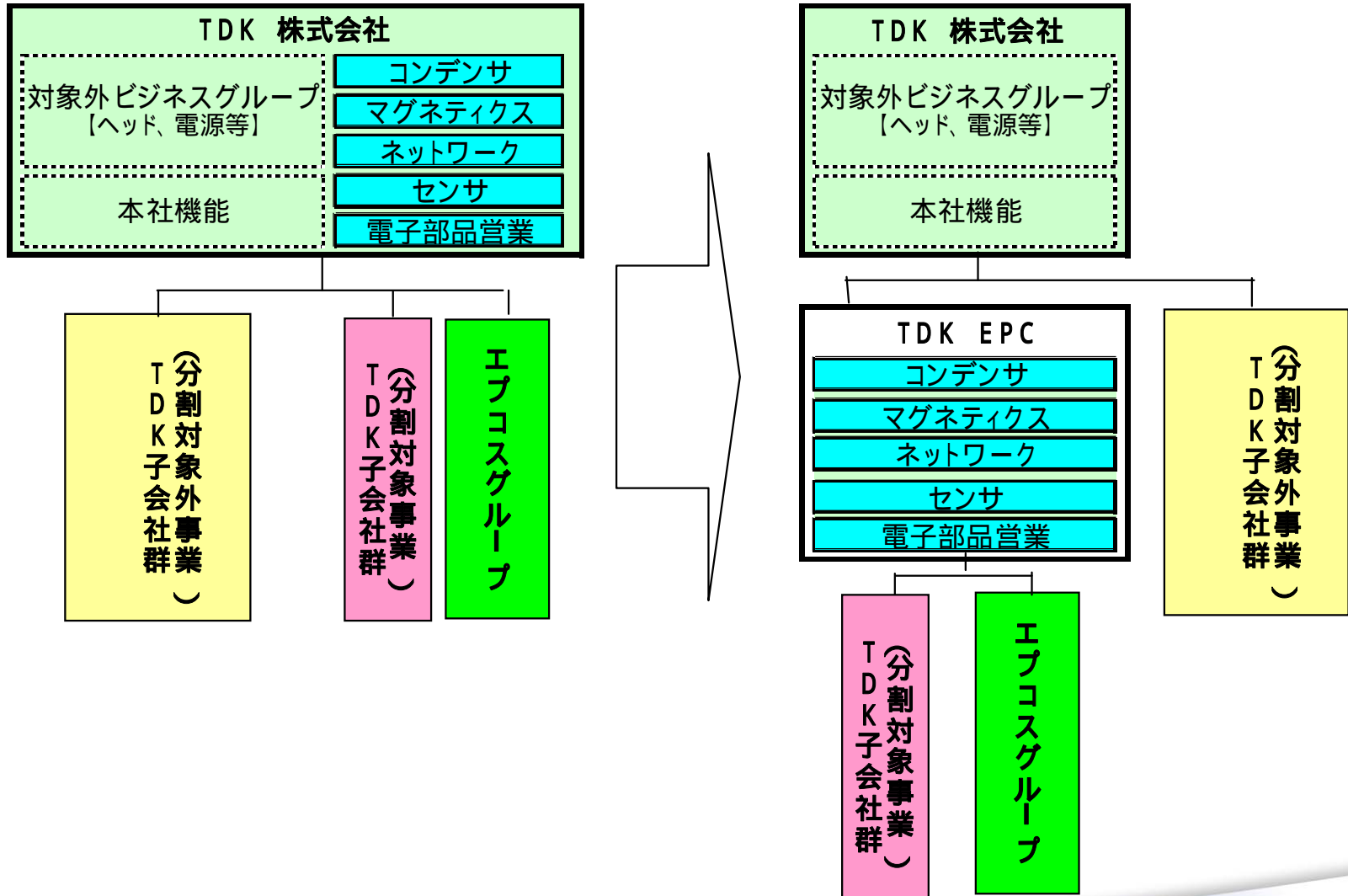
TDKは受動部品事業を新設分割により分社化

- ◆6月26日TDK株主総会にて承認決議予定
- ◆10月1日新設会社設立

新設会社がエプコス社を子会社とし、  
一体化した部品会社が本格的に活動開始

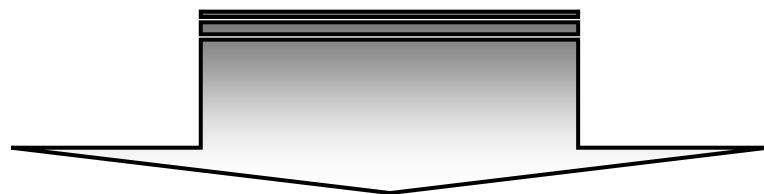


# 会社分割イメージ図



## 受動部品事業を分割する目的

- ◆ 統合スピード加速、シナジー最大化
- ◆ 買収目的の早期実現



「世界のリーディング電子部品メーカー」へ

## エプコス社統合の進捗

(現状)

新設会社とエプコス社との統合に関わる事業構造及び組織設計プロセスは、ほぼ完了

(今後)

法定手続きを経て、実行プロセスに入る予定

# エプコス社統合の今後のステップ

2009年5月20日	エプコス社定時株主総会	『支配契約』、『100%子会社化』承認決議予定
2009年6月26日	TDK定時株主総会	受動部品分社化承認決議予定
2009年10月1日	受動部品新子会社設立	

統合プロセスを完遂し、投資効果を追及

# 2010年3月期 経営重点課題

1. エプコス社統合について
2. 収益構造改革について
3. コンデンサ事業について
4. HDD用ヘッド事業について

## 収益構造改革

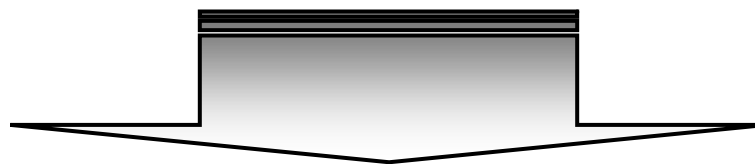
各施策を徹底的に遂行し、

- ◆ 原価率低減
- ◆ 販売費及び一般管理費削減

により黒字化を図る

# 構造改革進捗まとめ

2月9日 (単位:億円)	'09/3期 発生費用	年間効果金額
リストラクチャリング費用	150	
不採算製品終息/改善		168
拠点整理		70
人員合理化		166
一般管理販売費 削減		225
合計	150	629

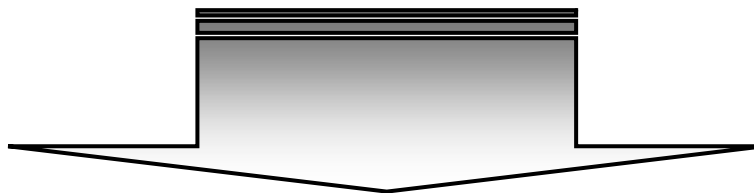


5月8日 (単位:億円)	'09/3期 発生費用	'10/3期 年間効果金額
リストラクチャリング費用	334	
不採算製品終息/改善		54
拠点整理		116
人員合理化		183
一般管理販売費 削減		279
投資抑制/償却進展による 減価償却費 削減		66
合計	334	698

'10/3期 発生費用	'10/3期 年間効果金額
33	
	21
	1
33	22

## 資産効率重視の経営

### ◆ 資産効率改善 投資の早期刈り取り



- ◆ ネットデット(手持ち現預金 < 借入金)状態の早期解消
- ◆ 株主資本比率の向上



## 2010年3月期の配当金について

- ◆ 配当基本方針に変更無し
- ◆ 今期は厳しい業績見込
- ◆ 下期の最終製品需要 / 部品需要が不透明

上期業績見通しが固まった時点で発表



## プレゼンテーション資料に関する注記

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。